

ユーザー（Oracle）の作成

EMDC → [サーバー] タブ → セキュリティのセクションの「ユーザー」

一覧表の右上の 作成 をクリックする

※ テーブルや索引の作成は、スキーマ（ユーザー）配下に作られるので
[スキーマ] タブのページのデータベース・オブジェクトのセクション配下にメニュー表示される。

一般ユーザーが必要なシステム権限設定

一般的ユーザーに付与するシステム権限は、**CREATE SESSION 権限**だけを許可設定にする。

これ以外の設定は、不要である。

個々のオブジェクトに対しては、それぞれにオブジェクト権限をそれぞれ設定する必要がある。

アクセス制御のための権限付与の操作方法

【システム権限の付与】

GRANT システム権限 TO ユーザー名;

【ロール権限の付与】

GRANT "ロール権限" TO ユーザー名;

※ ロールを指定する場合だけ、ロール名をダブルクォーテーション (") で囲む必要がある

【オブジェクトへの権限の付与】

GRANT オブジェクト権限 ON オブジェクト名 TO ユーザー名;

ユーザーに必要な権限の付与

- EMDC を使って接続するための権限付与

~~GRANT SELECT ANY DICTIONARY TO <ユーザー名>;~~

~~もしくは、~~

GRANT SELECT_CATALOG_ROLE TO <ユーザー名>;

- 表（テーブル）を**作成、属性変更**するための権限付与

GRANT CREATE ANY TABLE TO <ユーザー名>;

GRANT ALTER ANY TABLE TO <ユーザー名>;

GRANT DROP ANY TABLE TO <ユーザー名>;

※ この権限は、他者のスキーマに所属するテーブルに対しての操作権限になる
一般的ユーザーに対しては、この権限を付与しないこと
付与してしまうと、間違って削除される原因となってしまう

- 表（テーブル）を**操作**するための権限付与

GRANT <操作> **ON** 表（テーブル） TO <ユーザー名>;

※ <操作> : select, insert, update, delete

- シノニムへの操作許可権限付与

GRANT <操作> **ON** <シノニム名> TO <ユーザー名>;

※ <操作> : select, insert, update, delete

- アプリケーションを使ってデータベースへ接続するための許可権限付与

GRANT CONNECT TO <ユーザー名>;

- シノニムへの作成方法

利用目的別ユーザーに必要な権限の付与

【データベース管理者】

GRANT **DBA** TO <ユーザー名>;

※ DBA : システム権限のすべて

【システム開発者】

GRANT **RESOURCE**, **CONNECT** TO <ユーザー名>;

※ RESOURCE : Create Cluster
Create Procedure
Create Sequence
Create Table
Create Trigger
Create Type

【アプリケーション・エンドユーザー】

GRANT **CONNECT** TO <ユーザー名>;

※ CONNECT : Alter Session
Create Cluster
Create Database Link
Create Sequence
Create Session
Create Synonym
Create View
Create Table